

## 第 20 回研究セミナー・第 9 回会員交流会報告

去る 11 月 11 日 (土)、午後 1 時 30 分から 4 時 30 分まで、研究セミナーと会員交流会を同時開催しました。会場は「エルプラザ」4 階研修室 5。ハイブリット開催で、会場参加者 16 名、オンライン参加者 2 名、これらのうち 1 名が非会員でした。理事長挨拶と古沢会員逝去への黙とうに続き、話題提供は、千島海溝沿いの地震活動、三角山の岩石に関する研究、横須賀高校の修学旅行案内の報告、豪雪と雲関連と多彩な話題でした。予定の終了時間を 30 分延長して、オンラインを含む参加者の 1～数分トークを行い、次につながる問題点等も洗い出されて盛会裡に終了しました。



終了後、地下の中華店に会場を移し、懇親会が行われ 13 名が参加しました。コロナ禍のうっ憤を晴らすような、しかしインフルへの警戒をしつつの盛り上がりを見せた会となりました。

話題提供は、以下の 4 件 (敬称略) でした。

高波鐵夫：「最近の千島海溝沿いの地震活動」

- ・近年の特徴を概観し、防災関連の貴重な提言をいただきました。

岡村 聡：「三角山火山の岩石」

- ・火山岩の中に多くの包有物 (取り込まれた岩片) の実態が紹介され、火山活動のモデルが示されました。

関根達夫：「横須賀高校修学旅行の案内報告」

- ・10 月 17 日に行われた、厚真町周辺の地震災害現場案内の報告がありました。

宮下純夫：「2021-2022 年の大雪とさまざまな雲の紹介」

- ・ご自宅の車庫の雪庇やモエレ山に積もった雪の亀裂、彩雲や夕焼けなどが紹介され、地球環境との関連を示されました。

なお、参加された木村会員から、毎日新聞 (2023/6/29) に掲載された在りし日の古澤さんに関する記事の紹介がありました。また、会場の様子は嵯峨山さんの撮影です。報告文の調整は、情報基盤整備担当の川村さんにお世話になりました。会を盛り上げてくださったみなさまも含め、感謝申し上げます。

以上

(中川 充 司会担当)